



初等部だより 5月号

鎌倉女子大学初等部

令和2年5月13日

第2号

みんなががんばりましょう

部長 勝木 茂

緊急事態宣言が継続されたことに伴い、子どもたちの安全を第一と考え、臨時休業期間を再延長させていただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止につきましては、引き続きの行動制限が不可欠な状況となっています。

初等部生にとっても2年生以上は臨時休業期間が3か月目に入ります。また、1年生にとっては入学式も含め、まだ1日も登校できていません。このような厳しい状況ではありますが、「止まない雨はない」「明けない夜はない」という言葉を信じて、今は、みんなががんばりましょう。



【図書館横のニセアカシヤの木、毎年この時期に花を咲かせます。】

このような状況において、初等部として子どもたちの学習が遅れないよう、教育課程を確実に実施すべく、4月9日（木）より、鎌倉女子大学情報教育推進室の協力のもと、マイクロソフト＝ストリームを活用し、初等部教員による映像授業（オンデマンド配信）を実施しているところです。

この映像授業は残念ながら一方通行となってしまいます。しかし初等部では、教員一人一人が、映像の向こう側で真剣に学習する初等部生一人一人を思い浮かべながら、心と心はいつもつながっているという思いで授業づくりを行っているところです（たまにはリラックスも必要かと「やすみじかん」も配信しました）。ですから、基本的には初等部生の所属する学年の教員が授業を行っております。

現在、全学年全教科の授業配信は200を超えました。初等部としてもはじめての取り組みでしたので、最初は、その内容や方法に戸惑いもありましたが、徐々に映像授業（オンデマンド配信）のメリットも分かってきました。

主なメリットは、途中で何回か映像を一旦停止にし、自分のペースに合わせて、準備をしたり思考をしたり記述をしたりすることができること、また、繰り返し見ることによって、最初は分からなかったことに対しても理解を深めることができること等です。しかしこのことはひとつ間違えるとデメリットになってしまうこともあります。いつでも見ることができることが、計画的な学習を妨げることとなってはいけません。規則正しく生活し、学習時間を確保することが大切なのは言うまでもありません。特に低学年においては、お子さんだけで学習し、一定の学力を身に付けることはかなり難しいと感じています。保護者の皆様におかれましては、大変な状況の中ではありますが、それぞれのご家庭の状況に合わせて、保護者の皆様の時間の取れる時などに計画的にお子さんの学習をフォローしていただければと思います。

今は、緊急事態宣言が出ている大変な時です。このような状況の中で、わたしたちも、子どもたちの安全を最優先しつつ、今、何が出来るのかを日々考えていこうと思っています。子どもたちの未来のために今はみんなががんばりましょう！



【映像授業の撮影の様子：4年生】